

新専門医制度の現況

2017年11月26日

第67回日本泌尿器科学会中部総会

日本泌尿器科学会専門医制度審議会委員長

小川 良雄

第67回日本泌尿器科学会中部総会 COI 開示

筆頭発表者名： 小川 良雄

私は今回の演題に関連して、
開示すべきCOIはありません。

新専門医制度の現況

- 泌尿器科専門研修プログラム
- 機構認定専門医更新基準

新専門医制度の現況

- 泌尿器科専門研修プログラム
- 機構認定専門医更新基準

用語： 専攻医と専門医

- 専攻医：
 - － 初期臨床研修を終了し、専門医となるまで泌尿器科専門研修プログラムで専門研修を行う又は行っている医師
 - － 通常、卒後3年目から6年目
- 専門医：
 - － 泌尿器科専門医認定を取得した医師

迷走を続けた新専門医制度

一般社団法人 日本専門医機構

専門研修プログラム研修施設評価・認定部門／基本領域研修委員会
【第3回合同委員会】

開催日時 平成 29 年 9 月 12 日（火） 16：00～18：00

開催場所 東京国際フォーラム G502

東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号

議事次第

【議事】

- I. プログラムに関する現状報告 . . . 資料 1-1
- II. 今後のスケジュールについて . . . 資料 2-1
- III. 二次審査について . . . 資料 3-1～資料 3-19
- IV. その他

【※会議後回収】

基本領域学会御中

新しい専門医制度の開始にあたって

一般社団法人 日本専門医機構
理事長 吉村 博邦

1. 平成 30 年 4 月からの専門研修の開始について

わが国の「新しい専門医制度」については、地域医療への懸念等が示されたことから、その開始が遅れておりました。

このたび、厚生労働省により設置された「今後の医師養成の在り方と地域医療に関する検討会（本年 4 月設置）」等での議論を踏まえて、本機構の専門医制度の「新整備指針」、「運用細則」、「補足説明」等の改定が終了致しました。これを受けて、本年 8 月 4 日開催の機構理事会で、来年（平成 30 年）4 月から、新しい専門医養成の研修のスタートを目指して、本年 10 月 1 日から専攻医の一次登録を開始、さらに、12 月中旬を目途に二次登録を行うことと致しました。

各領域学会の皆様には、諸般の事情から、正式な制度スタートについての表明が遅くなりましたことを、心よりお詫び申し上げます。

I プログラムに関する現状報告

	応募プログラム数	承認プログラム数
平成28年	98	95
平成29年	3	1
合 計	101	96

- 専攻医募集定員数は申請総数が613名であったものを最終532名とした。
- 平成29年度の専門研修開始は251名

登録方法

- 登録の窓口

- 研修希望者は、希望する領域学会のホームページを窓口として登録作業をおこなう。
- 登録システムは機構で整備している。各学会のホームページにリンクを張り、登録窓口を作成する。
- システムに関する相談は、機構で対応する。

専攻医の登録方法



ホーム



当学会について



専門医制度



学会開催案内



学会誌



お知らせ



よくある質問



関連学会・その他リンク



JUA academy
Everything you need is always at hand.

会員専用ページ (My Web)

ログイン

会員情報の変更、
選挙関連情報、
学会賞・助成金公募情報、
文庫プログラム、
理事会・総会議事録、
各種委員会報告、
学会雑誌閲覧、他

パスワードをお忘れの方はこちら

賛助会員の
みなさまへ (ログイン)



第82回日泌東部総会

第69回西日本泌尿器科学会総会

第67回日泌中部総会

第106回日泌京都総会



泌尿器科専門研修 専攻医登録サイトはこちら



お知らせ

更新情報

よくある質問

ニュースレター

一覧へ

- 2017.10.10 お知らせ 2018年泌尿器科専攻医登録を開始いたしました
- 2017.10.5 お知らせ SNM (Sacral Neuromodulation, 仙骨神経刺激療法) 講習会のお知らせ
お申込み方法につきましては、ご案内の中にあります
「SNMハンズオンセミナー受講の応募と詳細はこちら」をご覧ください。
- 2017.8.23 お知らせ 第2回日本泌尿器科学会サマースクール2017 開催結果
- 2017.7.20 お知らせ 2017年AJUA、EAUとの交流プログラム公募について
- 2017.7.19 お知らせ 2017 USANZ Trainee Weekの公募について
- 2017.7.3 お知らせ SNM (Sacral Neuromodulation, 仙骨神経刺激療法) 講習会のお知らせ
→全ての日程が満席となりました。
専用申込みフォームはこちら よりダウンロードできます
- 2017.5.29 お知らせ 会員専用ページ (My Web) のスマートフォン閲覧対応のお知らせ

総会・地区総会情報

医学生・研修医の
みなさまへ

入会案内

転載許諾について

選挙関連情報

学会賞・海外交流プログラム

教育施設システム

専攻医登録システム

管理者ログイン

ユーザID

pm001115

パスワード

ログイン

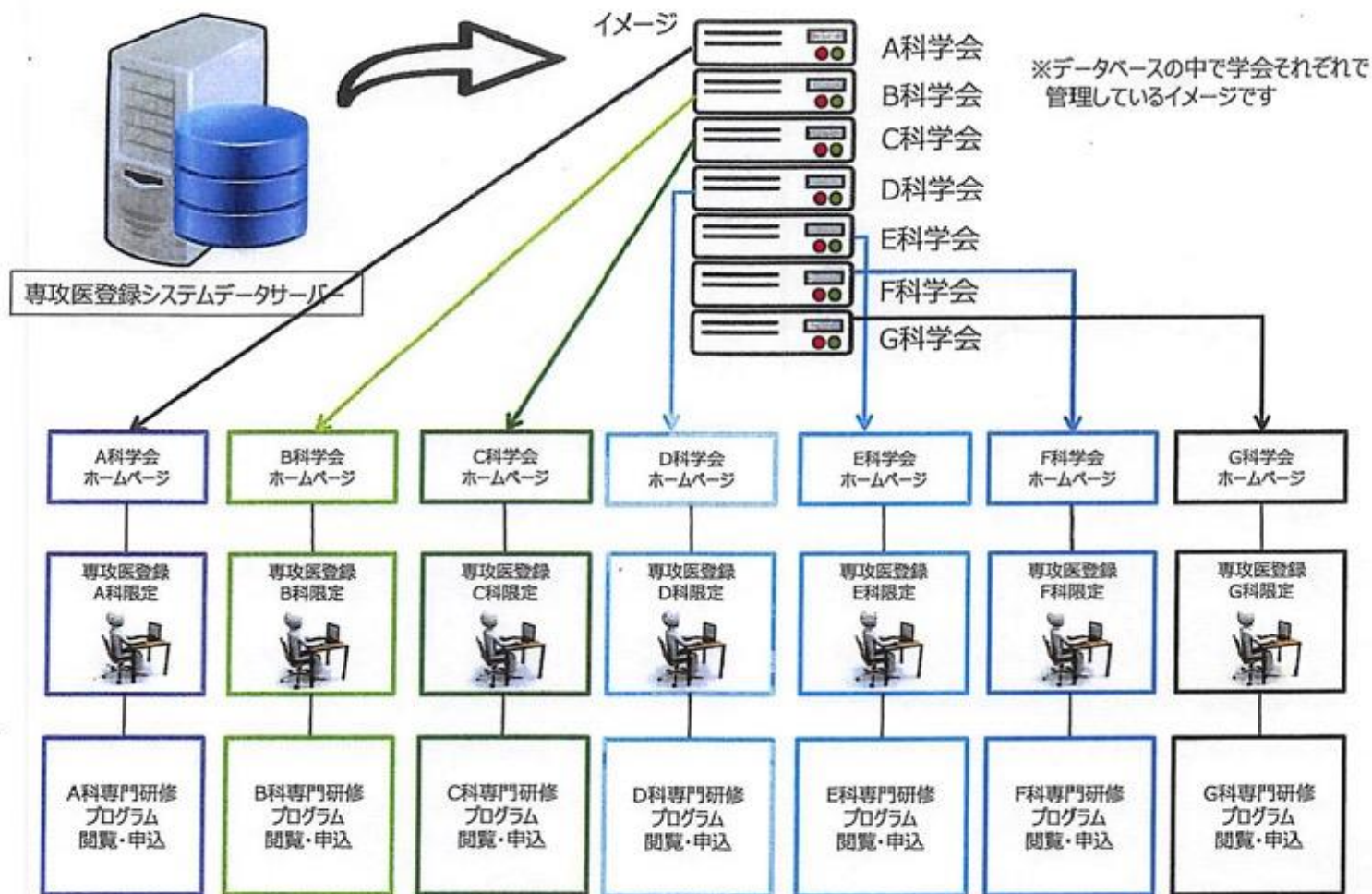
※パスワードを忘れた方は[こちら](#)から再設定してください。
※ユーザIDを忘れた方は[こちら](#)からお問い合わせください。
※統括責任者の方の操作マニュアルは[こちら](#)からご確認ください。

※推奨環境※
本システムをご利用頂くには以下のブラウザを推奨いたします。
推奨ブラウザ以外でアクセスされた場合の動作保障は致しかねます。
Internet Explorer 11 / Microsoft Edge
Google Chrome / Mozilla Firefox / Safari

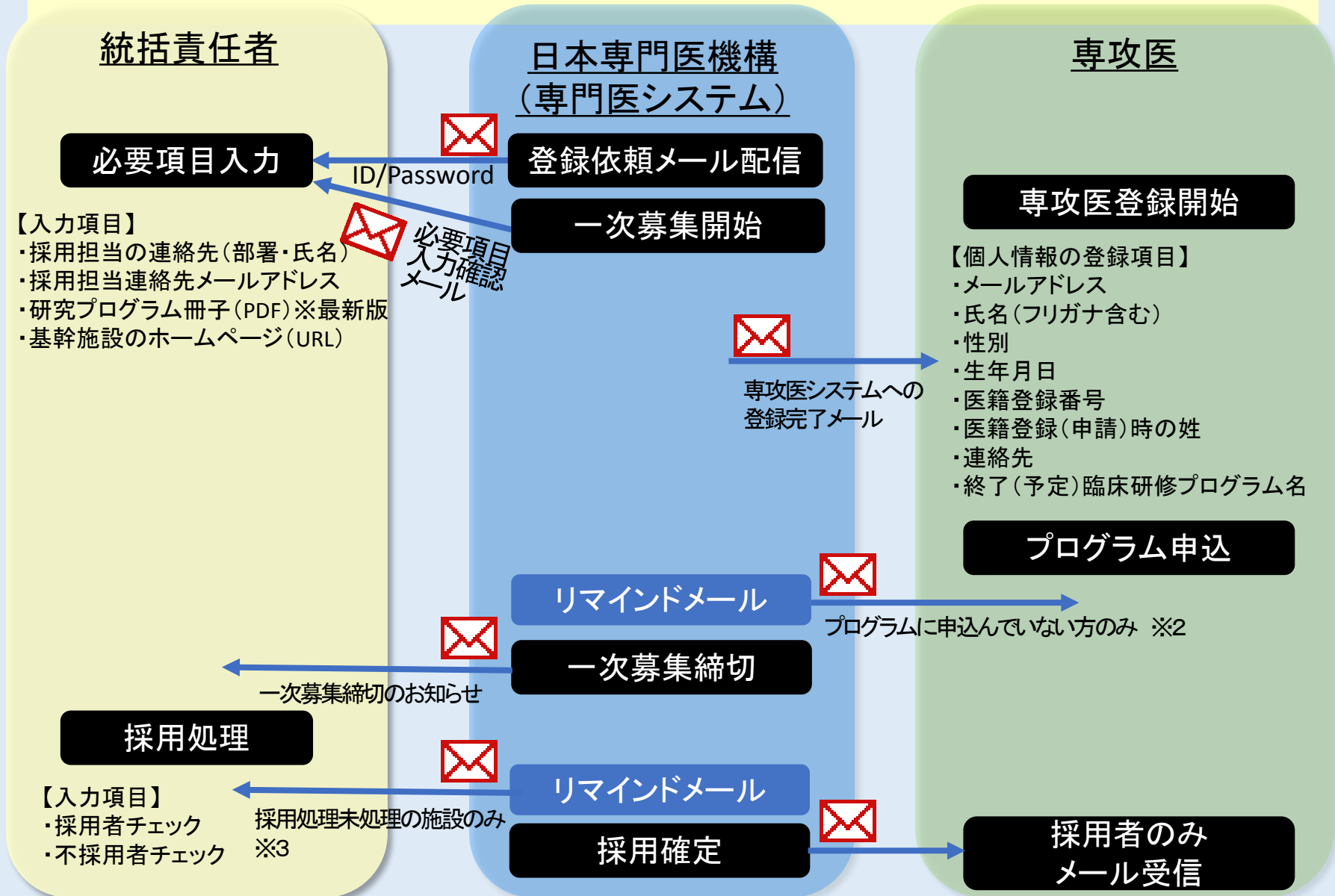
[利用規約](#)・[プライバシーポリシー](#)

専攻医は希望する学会にまず登録する

専攻医登録システムのイメージ【領域完結型】



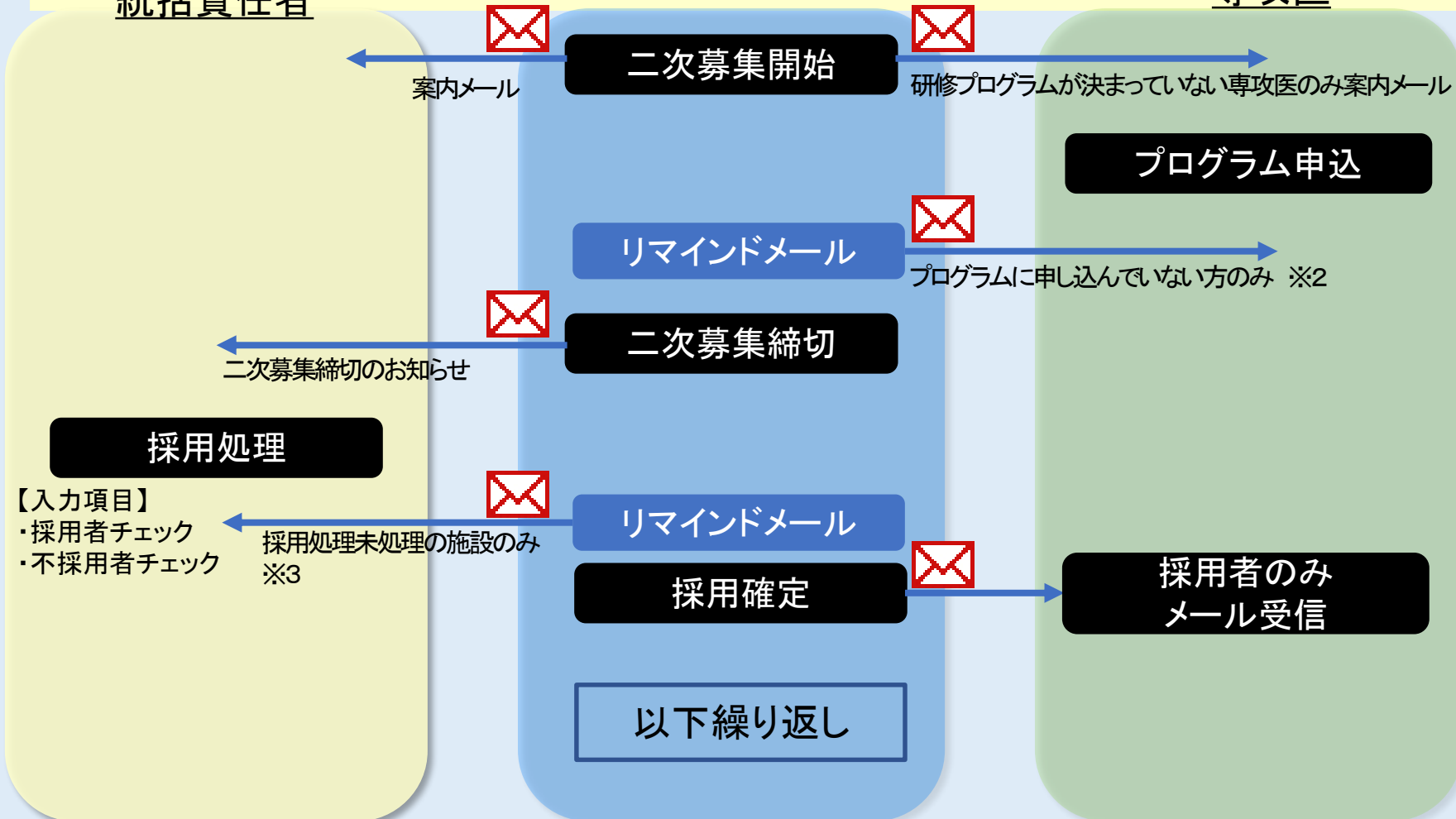
登録の流れ1



登録の流れ2

統括責任者

専攻医



※1 専攻医の登録開始と研修プログラムの一次募集開始が同一日の場合は専攻医へ募集開始の案内メールは送信しない

※2 研修プログラムの申し込みが終了していない専門医に対し、募集締切の1週間前、3日前、1日前にメール送信を行う

※3 採用処理で確定ボタンを押していないプログラムに対し、確定日の1週間前、3日前、1日前にメール送信を行う

その他: 登録システムで確定ボタンや申込ボタンを押した時点で完了メールや確認メールがそれぞれ配信されます



ログイン

ユーザID

パスワード

ログイン

※パスワードを忘れた方は[こちら](#)から再設定してください。
※ユーザIDを忘れた方は[こちら](#)からお問い合わせください。

推奨環境

本システムをご利用頂くには以下のブラウザを推奨いたします。
推奨ブラウザ以外でアクセスされた場合の動作保証は致しかねます。

Internet Explorer 11 / Microsoft Edge

Google Chrome / Mozilla Firefox / Safari

[利用規約](#)・[プライバシーポリシー](#)

Ⅱ 今後のスケジュールについて

年	月 日	項 目	対 象
平成29年	10月10日～11月15日	1次登録	専攻医
	11月16日～11月30日	採用確認・調整期間	学会とプログラム
	12月1日～12月15日	採用期間	プログラム
	※プログラム統括責任者：採用不採用の可否をシステムにアップする		
	12月16日～平成30年1月15日	2次登録	専攻医
平成30年	1月16日～1月31日	採用確認・調整期間	学会とプログラム
	2月1日～2月15日	採用期間	プログラム
	※プログラム統括責任者：採用不採用の可否をシステムにアップする		
	※2次登録終了後も、研修先の決まらない希望者は、引き続き空席のある各領域の基幹施設と連携をとり、研修プログラムへの登録を可能とする予定。		

※当初10月1日開始予定は延びました。
都道府県協議会からの回答の最終期限が9月29日まで延びたため。

Q&A 都道府県協議会とは

- 厚生労働省が都道府県に対して設置を要請した専門医の研修に関する協議の場で、行政（都道府県）、医師会、大学、病院団体からなる組織
- 地域における研修プログラムの基幹施設、関連施設、連携施設などの構成に偏りがいか、募集定員が適切かどうかなど、地域医療の観点から新しい専門医の仕組みを検証し、修正意見を提出する

都道府県協議会から要請

- ⇒北海道専門医制度連絡協議会運営委員会委員：舩森教授から旭川医大プログラム総括責任者に連絡あり
- ⇒プログラムの定員数やその他の事項の要請が来た場合には、泌尿器科学会の専門医制度審議会に連絡してください
- 泌尿器科学会と各プログラムが（機構にも問合せるか？）審議して回答する予定です

今年度のプログラム募集

- 1次募集で約90%の研修医が登録することを予測しています
- プログラム統括責任者と研修医が登録前に条件等を相談してください
- 平成29年度のプログラム登録の**最終期限は3月31日**です
- ただし、公的病院等の入職の手続きには1か月半はかかるので、なるべく2月15日までに採用してください

Ⅲ 二次審査について

- 96の泌尿器科専門研修プログラムは、すべて機構の二次審査に合格した
- 都道府県協議会からの要請がある場合には、専門医制度審議会に連絡してください
- 今後、専門医機構から各プログラムは5年間の管理料として5万円＋消費税を請求されます

一次登録応募状況

- 平成29年11月15日現在
- 全プログラムについて 257名の応募あり
- 大都市

都 市	応募者数	過去5年間平均
東京都	50	51
神奈川県	15	15
愛知県	9	10
大阪府	22	19
福岡県	16	12

Q & A

**現在まで専門医制度審議会に
質問が来た項目**

Q&A 研修の開始について

専門医研修は研修基幹施設から開始しなければいけませんか。

- ➡ 研修連携施設からでも大丈夫です。
- ➡ 研修基幹施設6か月以上とし、研修連携施設では3か月以下にならないようにしてください。
- ➡ ただし、専攻医の登録は研修基幹施設としてください。

Q&A 専攻医の所属

専攻医（卒後3年目）の所属（入局）は研修基幹施設でなくてもいいか。

- プログラムの所属は基幹研修施設ですが、いわゆる入局（入職）は**どこの施設**でも問題ありません。
- あくまでも各専門研修プログラムでの所属は専門医を取得するための所属です。

Q&A 専攻医の募集定員数

定員数をオーバーして応募があった場合には不採用(不合格)を出さなければならないのか

- ➡個別のプログラムで定員を超えた場合には、年次ごとに調整(採用確認・調整期間中に)
- ➡採否決定画面で、採用、不採用、保留がありオーバーしたときは保留にしてください
- ➡予め泌尿器科学会にお知らせください
- ➡具体的には、またお知らせします

Q&A 大都市の定員数制限

東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、福岡県の定員数は原則として過去5年の専攻医採用実績の平均を超えないものとする。

- ➡採用実績の平均とは各都市全体の採用実績の平均
- ➡個別のプログラムで定員を超えた場合には、年次ごとに調整
- ➡地方への派遣も考慮して、機構と学会で調整

Q&A 京都府医療課から カリキュラム制についての質問

1. カリキュラム制度を希望する場合、申請は誰が行うのか。(医局に入局していない人への対応も含め)
 2. カリキュラム制度を利用する場合、どこかの基幹病院に属することになるのか
- 日本泌尿器科学会は原則プログラム制度で行ないます。別のプログラムを作리ませんが、妊娠出産、疾病、留学場合、あるいは非常勤雇用での研修等を含むものを想定したプログラム制をカリキュラム制とします
 - 研修プログラム統括責任者から申請していただき、当学会専門医制度審議会で検討させていただきます

Q&A 専門研修プログラム管理委員会

1年目の評価として、いつどのように評価したらよろしいのでしょうか。審議会に提出する書類などはないのでしょうか。

- ➡専門研修プログラム管理委員会は、少なくとも年に1回開催し、プログラムの作成専攻医の学習機会の確保、継続的・定期的に専攻医の研修状況を把握するシステムの構築、適切な評価の保証、修了判定を行います
- ➡連携施設においても、原則とし常設の委員会をおき、専攻医の研修状況を把握し、年1回は基幹施設に報告してください

新専門医制度の概要

- 泌尿器科専門研修プログラム
- 機構認定専門医更新基準

専門医更新についてのご案内

料金後納

ゆうメール

差出人／運付先
MCC,inc

〒270-0132
千葉県流山市駒木569-1
MC内MCC事務局

このお荷物はご依頼人様から
預かりました荷物を当社が差出人
となって発送代行しています。

〒142-8555

東京都品川区旗の台1-5-8

昭和大学医学部

泌尿器科

小川 良雄 様

会員No.031755

専門医更新についてのご案内

一般社団法人 日本泌尿器科学会

専門医制度審議会

〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目17番15号

齊藤ビル5F

TEL 03-3814-1351 FAX 03-3814-4117

E-mail: senmoni@uro.or.jp



日本泌尿器科学会
The Japanese Urological Association

一般のみなさま 会員ページ English 事務局 サイトマップ



ホーム



当学会について



専門医制度



学会開催案内



学会誌



お知らせ



よくあるご質問



関連学会・
その他リンク

ホーム 専門医制度 各種申請 専門医更新・指導医申請

専門医制度

専門医教育施設紹介

認定専門医一覧

腹腔鏡認定医一覧

専門医制度について

→ 専門医制度について

→ 専門医の取得について

→ 専門医制度規則・申し合わせ事項

→ 研修単位・業績発表

→ 新専門医制度について

→ お知らせ

各種申請

→ 専門医認定申請

→ 専門医更新・指導医申請

→ 教育施設認定・更新

認定試験

→ 専門医認定試験のご案内

→ 認定試験ガイドライン

→ 既出問題（問題集CD）

→ お知らせ

研修開始登録

→ 研修開始登録のご案内

→ お知らせ

医学生・研修医の
みなさまへ

一般のみなさま向けサイト

専門医更新・指導医申請

PDFアイコンが付いている各種文書（PDFファイル形式）をご覧になるには、[Adobe Acrobat Reader 最新版](#)が必要です。お持ちでない方は、ソフト（プラグイン）をダウンロードして下さい。
尚、下位バージョンではご覧いただけない場合がございますのでご了承下さい。

専門医更新・指導医認定・更新申請のご案内

- 専門医資格をお持ちの先生方に、2018年以降の専門医更新についてのご案内を郵送いたしましたのでご確認ください。
「[専門医更新についてのご案内（2017年10月）](#)」
- 2018年専門医更新・指導医認定・更新申請については、[更新期間](#)は2018年1月5日（金）～3月30日（金）です。更新に該当する先生方には、11月中旬に「更新申請のご案内」を郵送いたします。

18（平成30）年度 泌尿器科専門医・指導医、教育施設の申請について

1. 専門医更新・指導医初回および更新申請

◆専門医の更新につきましては2016年度より日本専門医機構の制度に順次移行となりましたが、2017年度の運用は不透明な状況にありましたので学会専門医のお手続きのみとしていただきました。2018年度よりあらためて日本専門医機構の制度に順次移行することが決定いたしましたので、2018年更新該当者の先生方におかれましては機構専門医または学会専門医のいずれかを選択して更新していただくことになります。

【申請該当者】（本年中に申請に関するご案内を郵送いたします）

1. 専門医認定更新

2013年（平成25年）4月1日付で専門医初回または更新の認定を受けた方

2. 指導医初回認定申請

2013年（平成25年）4月1日以前に専門医に認定され、専門医の更新認定を受けている方
＊2013年に専門医初回認定を受けた方は専門医認定更新申請と同時に申請可能です

3. 指導医認定更新申請（専門医認定更新も同時に申請が必要です）

2013年（平成25年）4月1日付で指導医初回または更新の認定を受けた方

【申請期間】

2018年（平成30年）1月5日（金）～3月30日（金）

専門医更新についてのご案内

専門医更新につきましては、日本専門医機構の制度への移行について泌尿器科専門医更新基準が正式に承認されました。2018 年以降のお手続きにつきましては下記ようになります。

併せて学会ウェブサイトに掲載の『泌尿器科専門医 更新基準 V8』等をよくお読みいただき、ご確認いただきますようご案内申し上げます。

(URL http://www.urol.or.jp/specialist/system/about_new.html)

なお、インターネットがご利用いただけない先生におかれましては学会事務局までご連絡ください。

- ◆ 日本専門医機構の制度による専門医更新基準が一部変更された
- ◆ 2018 年～2021 年の専門医更新申請は、機構専門医か学会専門医のどちらかを選択して更新する（2016 年に機構の制度で専門医更新をした方は学会専門医を選択することはできません）
- ◆ 2022 年以降は機構専門医に完全移行となる
- ◆ 指導医については日本泌尿器科学会の制度で認定が継続される

1. 日本専門医機構の制度による専門医更新基準

日本専門医機構の制度による専門医更新基準概要

- i) 診療実績 10 単位（手術 10 症例で 1 単位、診療症例 1 領域 10 件で 1 単位）
- ii) 専門医共通講習 最小 3 単位（必修講習各 1 単位）最大 10 単位
- iii) 泌尿器科領域講習 15 単位以上（ii, iv の単位取得状況により必要単位数が異なります）
- iv) 学術業績・診療以外の活動実績 0～15 単位

※上記 i ～ iv の合計 50 単位が必要となる。ただし、4 回目以降の更新者は i の診療実績による 10 単位が免除となり ii ～ iv の合計 40 単位が必要となる。

※ ii、iii の講習単位について下記の条件を満たすことを必要とする。

- (1) 専門医共通講習と泌尿器科領域講習の合計必要単位数のうち、40%以上の単位を日本泌尿器科学会の卒後教育プログラム（ビデオ講習を含む/e-ラーニングを除く）で取得すること（2018 年申請時には当条件は適用されません）
- (2) 専門医共通講習と泌尿器科領域講習の合計必要単位数のうち、日本泌尿器科学会の e-ラーニング（JUA WEBINAR は除く）の受講による単位は 30%までとすること
- (3) 日本泌尿器科学会総会または東部・中部・西日本総会に 5 年間のうちに 1 回以上出席していることが必要（学術業績・診療以外の活動実績 3 単位となる）

講習等の単位

表 2】※参照
3 単位まで)

要な領域講習
(載)。

より機構の

選択する)

上げての申請

下記の割合で

表 1】参照
・西日本総会

と

なる
2021 年 4 月
単位
単位以上 単位以下 必修講習 3 単位以上が必要
単位以上
～15 単位
単位
以降の期間

、2019 年
とします
会への参加
は、日泌尿
できる単位が

ew.html)

もの)
(あらかじめ
は別途定める

に定める

すること

教育プログラ

される
指導医申請可能)
時はそのうち

ださい

「泌尿器科専門

聞いていただきます
会
117

確認手順

は、「免除」

要 …①

加単位登録を行うと、

加単位 (1 回 1 単位)

1～2 単位取得可能
計最大 15 単位) まで

認する …③

要
位必要

を確認する
いるか

習、JUA WEBINAR、
など

v) の参加単位につい

2018年4月に専門医更新を目指す場合

A

学会専門医更新、指導医初回・更新 2018年度申請手続きについてのご案内

※ ご提出いただく書類、お手続きに時間のかかるものがございます
ので、お早めに内容をご確認ください。

※ この冊子をよくお読みになってお手続きください。
提出書類に不備がある場合は受付できませんのでご注意ください。

一般社団法人 日本泌尿器科学会
専門医制度審議会

〒113-0034 東京都文京区湯島2-17-15斎藤ビル5F

B

機構専門医更新、指導医初回・更新 2018年度申請手続きについてのご案内

※ ご提出いただく書類、お手続きに時間のかかるものがございます
ので、お早めに内容をご確認ください。

※ この冊子をよくお読みになってお手続きください。
提出書類に不備がある場合は受付できませんのでご注意ください。

一般社団法人 日本泌尿器科学会
専門医制度審議会

〒113-0034 東京都文京区湯島2-17-15斎藤ビル5F

日本専門医機構の制度による更新基準

(下記1～4の合計 50 単位が必要)

1. 診療実績10単位

(手術10症例で1単位、診療症例1領域10件で1単位)

2. 専門医共通講習最小3単位

(必修講習各 1 単位) 最大10 単位

3. 泌尿器科領域講習最小15単位

4. 学術業績・診療以外の活動実績 0～15単位

日本専門医機構の制度による更新基準 における条件を設定

1. 日泌総会または地区総会に1回以上参加すること(1回3単位、上限6単位取得)
2. 講習単位全体の40%以上を卒後教育プログラム(e-ラーニングを除く)の受講により取得していること
3. e-ラーニングでの取得単位が講習単位全体の30%以下であること

日本専門医機構の制度による 泌尿器科専門医更新基準の変更点

- 1) 専門医更新回数が**4回目以降**の場合は、診療実績の**10単位が免除**となり、講習等の単位合計 40 単位で認定されます。
- 2) 専門医共通講習の最小取得単位は5年間で3単位(必修講習各1単位)です。最大10単位です。
- 3) 学術業績・診療以外の活動実績として、総会などへの参加(6単位まで)や筆頭発表等で最大15 単位までかで取得可能です。
- 4) 上記2)3)により、領域講習は最小で15単位となります。

日本専門医機構の制度による 泌尿器科専門医更新基準の変更点

- 5) 1日または学術大会会期中に取得できる講習単位数の上限はありません。
- 6) 機構の制度での完全運用までの移行期を1年間先送りとし、2022年更新申請より機構の制度での完全運用となります。
- 7) 学会中のシンポジウムやワークショップを60分～120分未満1単位、120分以上を2単位として認められることとなり、第82回東部総会より領域講習認定のプログラムが設定されました。会期の1日につき1プログラムを指定します。

現在専門医をお持ちの先生方は、
2021年の更新時までは日本専門医機構の制度による
専門医更新か従来の学会専門医更新の
いずれかを選択して手続きしていただくことになります。

現在の認定期間	次回更新		次々回更新	
2018年3月31日まで	2018年	機構専門医または学会専門医	2023年	機構専門医
2019年3月31日まで	2019年	機構専門医または学会専門医	2024年	機構専門医
2020年3月31日まで	2020年	機構専門医または学会専門医	2025年	機構専門医
2021年3月31日まで	2021年	機構専門医または学会専門医	2026年	機構専門医
2017年更新手続き中の方	2022年	機構専門医	2027年	機構専門医

※2016年に機構専門医の更新をなさった先生は、2021年は機構の専門医の更新となります。

2018年度以降の機構専門医更新に必要な単位について、
更新年度により更新に必要な単位数の割合が異なります。

更新年度	機構研修単位	学会研修単位
2018年度	40% (20単位)	60% (60単位)
2019年度	60% (30単位)	40% (40単位)
2020年度	80% (40単位)	20% (20単位)
2021年度	100% (50単位)	0% (0単位)

各更新時期における新更新基準部分の必要単位一覧表

	完全移行後の 機構認定専門医 の新更新基準	学会専門医の各更新時期において必要となる 新更新基準部分の取得単位			
項 目	取得単位	2018年 4月	2019年 4月	2020年 4月	2021年 4月
i) 診療実績の証明	10単位	4	6	8	10
ii) 専門医共通講習	最小3単位、 最大10単位 (このうち3単位は 必修講習)	最小2 最大4 必修講習 で1以上	最小3 最大6 必修講習 で2以上	最小3 最大8 必修講習 で3以上	最小3 最大10 必修講習 で3以上
iii) 泌尿器科領域講習	最小15単位	最小6	最小9	最小12	最小15
iv) 学術業績・診療以外 の活動実績	0～15単位	0～6	0～9	0～12	0～15
i)～iv)の合計	50単位	20	30	40	50

実際の単位取得例 (2018年4月に機構基準で更新予定)

項 目		2015年9月からの 取得単位	実際の適用	更新申請に 必要な単位
i) 診療実績の証明	A 手術実績	2 単位	手術症例20例	(0～4単位)
	B 症例一覧提示	2 単位	外来症例20例	(0～4単位)
	A+B	① 4 単位		4単位(必須)
ii) 専門医共通講習	a.必修講習	医療安全: 1 単位	総会卒後	必修講習は 2つ以上
		感染対策: 1 単位	地区総会卒後	
		医療倫理: 単位		
	b.その他	単位		
	a+b	② 2 単位		2単位以上必須 最大4単位
iii) 泌尿器科領域講習		③ 8 単位	総会卒後 1X5 地区総会卒後 1X3	6単位以上
iv) 学術業績・診療以外の活動実績		④ 6 単位	2016年総会参加 2017年総会参加	0～6単位
総合計(①+②*+③+④) *②には必修講習各1単位以上が必須です		20単位		20単位

従来の学会専門医更新のための60単位(2013年4月～2018年3月)

2013年、2014年、2015年日泌総会出席=20単位×3=60単位

2018年4月に機構の専門医取得を目指す場合

- 機構の専門医でも従来の学会の専門医でも扱いはまったく一緒です
- 泌尿器科学会の専門医の更新基準である**60単位(3年間分)**を取得していることが前提です
- 新しい機構の専門医の基準に関しては**2年間分の20単位**が必要です
- 従来の審査料2万円に加え認定料1万800円が必要です

2016年10月9日現在

日本泌尿器科学会中部総会で開催される講習

第67回日本泌尿器科学会 中部総会

11月24日(金)～27日(月)

11月24日(金) 大阪国際会議場

- | | | |
|----------------|---------------------|--------------|
| 1. 10:00-11:00 | 泌尿器腹腔鏡手術の基本手技と合併症予防 | エンドウロロジー・腹腔鏡 |
| 2. 10:00-11:00 | 筋層非浸潤性膀胱癌の診断と治療 | 泌尿器科腫瘍 |
| 3. 11:20-12:20 | 腎盂・尿管癌の診断と治療 | 泌尿器科腫瘍 |
| 4. 11:20-12:20 | 腎移植手術と免疫抑制法 | 腎不全・腎移植 |
| 5. 13:30-14:30 | チームで進める泌尿器科領域の患者安全 | 医療安全* |

11月25日(土) 大阪国際会議場

- | | | |
|----------------|--------------------|---------------|
| 6. 8:30-9:30 | 前立腺肥大症の外科的治療 | 老年泌尿器科・前立腺肥大症 |
| 7. 8:30-9:30 | 後腹膜肉腫の診断と治療 | 副腎・後腹膜 |
| 8. 14:00-15:00 | 尿路結石の再発予防(生活指導、薬物) | 尿路結石 |

11月26日(日) 大阪国際会議場

- | | | |
|-----------------|-----------------------|--------------|
| 9. 14:00-15:00 | VURと逆流性腎症 | 小児泌尿器科 |
| 10. 14:00-15:00 | GID(性同一性障害)の診断と治療 | 内分泌・生殖機能・性機能 |
| 11. 15:20-16:20 | 夜間頻尿の診断と治療 | 排尿機能・神経泌尿器科 |
| 12. 15:20-16:20 | 骨盤臓器脱および尿失禁の診断、治療の選択法 | 女性泌尿器科 |

11月27日(月) 大阪国際会議場(ビデオ講習)

- | | | |
|-----------------|----------------------------------|---------------|
| 13. 9:00-10:00 | 11/24 [1] 泌尿器腹腔鏡手術の基本手技と合併症予防 | エンドウロロジー・腹腔鏡 |
| 14. 9:00-10:00 | 11/24 [2] 筋層非浸潤性膀胱癌の診断と治療 | 泌尿器科腫瘍 |
| 15. 10:20-11:20 | 11/24 [3] 腎盂・尿管癌の診断と治療 | 泌尿器科腫瘍 |
| 16. 10:20-11:20 | 11/26 [11] 夜間頻尿の診断と治療 | 排尿機能・神経泌尿器科 |
| 17. 11:40-12:40 | 11/24 [4] 腎移植手術と免疫抑制法 | 腎不全・腎移植 |
| 18. 11:40-12:40 | 11/25 [6] 前立腺肥大症の外科的治療 | 老年泌尿器科・前立腺肥大症 |
| 19. 14:00-15:00 | 11/25 [8] 尿路結石の再発予防(生活指導、薬物) | 尿路結石 |
| 20. 14:00-15:00 | 11/26 [9] VURと逆流性腎症 | 小児泌尿器科 |
| 21. 15:20-16:20 | 11/25 [7] 後腹膜肉腫の診断と治療 | 副腎・後腹膜 |
| 22. 15:20-16:20 | 11/24 [5] チームで進める泌尿器科領域の患者安全 | 医療安全* |
| 23. 16:40-17:40 | 11/26 [12] 骨盤臓器脱および尿失禁の診断、治療の選択法 | 女性泌尿器科 |
| 24. 16:40-17:40 | 11/26 [10] GID(性同一性障害)の診断と治療 | 内分泌・生殖機能・性機能 |

11月25日

ワークショップ1
小児泌尿器科の進歩
と展望:これまでの25
年とこれからの25年
司会:林 祐太
郎
吉野 薫

1単位

11月26日

教育講演4
褐色細胞腫・パラガングリ
オーマの診療 Up-to-Date
司会:野々村 祝夫
演者:成瀬 光栄

シンポジウム11
副腎腫瘍の基礎と臨床
司会:野々村 祝夫
日下 守

1単位

必修では
ありません

最後に

- 情報は今後、常に更新されますので泌尿器科学会のホームページを是非ご覧ください。
- 統括責任者は専門医機構のホームページも常にチェックしてください。
- 疑問事項があればいつでも泌尿科学会専門医制度審議会にお問い合わせください。